

令和4年度 予算編成方針

コロナ禍が社会を長らく覆うなか、この困難を乗り越えるとともに、人々の心に希望を灯さなければなりません。そのため、市民の皆さんに寄り添い、未来へとあゆみを進める取組みを、令和4年度予算で示すものとします。

未来への投資、財源の創出、それらに新たな発想で臨みます。

令和3年（2021年）9月1日 豊中市長 長内 繁樹

コロナ後を見すえた投資

○市民起点の発想で施策を創造

重点的取組み（※）をふまえつつ、いま何が必要とされているか、現場でのニーズ把握を施策に結びつけます。

○変革をとおして財源創出

既存事業の見直し、歳入確保の取組みにより財源を創出します。

データとエビデンスの視点の強化

○個々の事業について説明責任を果たせる予算

事業およびその予算の1つ1つに説明責任が伴うことを念頭に、データとエビデンスの視点をより一層強化した提案の根拠をもって、予算編成にあたります。

※『経営戦略方針2022』の重点的取組み

- ・ 子どもたちの未来のために
- ・ コロナを乗り越え、その先に
- ・ 暮らしを便利・快適に